

加西市立泉小学校いじめ防止基本方針

加西市立泉小学校

1 学校の方針

学校教育目標は「未来を拓く たくましく 心豊かな泉っ子の育成」である。未来ある子供たち一人一人が自分らしさを発揮しながら堂々と生きぬく人間として育つよう、家庭・地域と連携し、自ら学び、考え、判断し、行動する力の育成をめざしている。互いの違いを認め合い、共に生きようとする心の育成こそ重要である。

そのため、全校児童が安心して学校生活を送り、有意義で充実した活動に取り組むことができるよう、いじめ防止に向けての日常の指導体制を定め、いじめの未然防止を図りながら早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は、適切かつ迅速に解決するための「学校いじめ防止基本方針」を定める。

2 基本的な考え方

本校は、加西市の北中部に位置し、四方には緑豊かな田園が広がり、童話になった庚申さんの「おはつきいちょう」の老木が四季の風情を運び、遠くに播磨富士笠形山を眺めるすばらしい環境の中にある。三世代が同居する家庭が比較的多く、昔ながらの自治会組織が引き継がれ、町内のほとんどがお互いを知っている。しかし、少子化、核家族化、価値観の多様化等により家庭、地域の教育力が低下傾向にあり、課題をもった児童がいることも否めない。

このような現状をふまえ、本校では一人一人の子供たちが、進んで自分の良さを発揮し、友達と仲良く力を合わせ、お互いの良さ、違いを認め合って健やかに伸びてくれるよう、また、ふるさと泉に誇りを持ってくれるよう、日々、教育活動に取り組んでいる。

いじめについては、充実した道徳の時間を確保するとともに、自尊感情の醸成を意識した学級経営、学習指導を行い、「いじめを生まない土壌づくり」に取り組むとともに、「いじめを許さない学校づくり」を推進するため、以下の指導体制を構築し、包括的に推進する。

3 いじめ防止等の指導体制・組織的対応等

(1) 日常の指導体制

いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、管理職を含む複数の教職員、心理等に関する専門的な知識を有するその他関係者により構成される日常の教育相談体制、生徒指導体制などの校内組織及び連携する関係機関を別に定める。

別紙1 校内指導体制及び関係機関

また、いじめは教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が児童の小さな変化を敏感に察知し、いじめを見逃さず、早期発見のためのチェックリストを別に定める。

別紙2 チェックリスト

(2) 未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめの防止の観点から、学校教育活動全体を通じて、いじめの防止に資する多様な取組を体系的・計画的に行うため、包括的な取組の方針、いじめの防止のための取組、早期発見の在り方、いじめへの対応に係る教職員の資質能力向上を図る校内研修など、年間の指導計画を別に定める。

別紙3 年間指導計画

(3) いじめを認知した際の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報の収集と記録、情報の共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を別に定める。

別紙4 組織的対応

4 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

重大事態とは、「いじめにより児童の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」で、いじめを受ける児童の状況で判断する。本校の場合、たとえば、身体に重大な傷害を負った場合、金品等に重大な被害を被った場合などのケースが想定される。

また、「いじめにより児童が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき」であるが、「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。ただし、児童が一定期間、連続して欠席しているような場合には、事案により校長が判断する。

また、児童や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申立てがあったときは、校長が判断し、適切に対応する。

(2) 重大事態への対応

校長が重大事態と判断した場合、直ちに、加西市教育委員会に報告するとともに、校長がリーダーシップを発揮し、学校が主体となって、いじめ対応チームに専門的知識及び経験を有する外部の専門家である保護司、民生児童委員、人権擁護委員等を適宜加えた組織で調査し、事態の解決に当たる。

なお、事案によっては、加西市教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力する。

5 その他の事項

誰からも信頼される学校を目指している本校は、開かれた学校となるよう情報発信に努めてきた。いじめ防止等についても、地域とともに取り組む必要があるため、策定した学校の基本方針については、学校のホームページなどで公開するとともに、学校評議委員会やPTA総会をはじめ、教育相談や家庭訪問などあらゆる機会を利用して保護者や地域への情報発信に努める。

また、いじめ防止等を実効性の高い取組を実施するため、学校の基本方針が、実情に即して効果的に機能しているかについて、「いじめ対応チーム」を中心に点検し、必要に応じて見直す。学校の基本方針の見直しに際し、学校全体でいじめの防止等に取り組む観点から、児童の意見を取り入れるなど、いじめの防止等について児童の主体的かつ積極的な参加が確保できるよう留意する。また、地域を巻き込んだ学校の基本方針になるように、保護者等地域からの意見を積極的に聴取するように留意する。